

二〇一二年十二月 山陰研究 第四号 抜刷
島根大学法文学部 山陰研究センター

山陰研究センター山本文庫目録稿（一）

田中則雄

山陰研究センター山本文庫目録稿（一）

田中則雄
(鳥根大学法文学部)

摘要

山陰研究センター蔵山本文庫は、鳥根県安来市母里の山本家に伝存した近世の古典籍群から成る。近世小説（特に実録）、漢詩文等々に加え、母里の地で営まれた俳諧の書にまで広くわたるものである。

キーワード・実録 近世小説

山本文庫の概要

山陰研究センター蔵山本文庫は、鳥根県安来市母里の山本家に伝存した近世の古典籍、一三三点、五二九冊から成る。同家は近世において踏鞴製鉄を営み、塩・醤油をも商ったと伝えられる。多く蔵書印を有する一家伝来の書籍群である。近世小説（特に実録）、漢詩文、教訓書等々に加え、母里の地で営まれた俳諧の書にまで広くわたっており、同家の教養水準の高さと文芸活動への関わりの深さを伝える。この蔵書が蓄積されたのは主として近世中後期かと推定するが、年記のない写本も多く、今後詳しく調査を行う必要がある。

なお当文庫は、同家御子孫に当たられる関西大学教授山本登朗先生

の御教示により、二〇一〇年十一月、芦田耕一・法文学部教授（現名誉教授）と田中則雄が同家に赴き、御許可を得て資料を大学へ移して調査を開始し、二〇一一年六月、正式に受贈したものである。

蔵書印

山本家の所蔵を示す蔵書印には、以下のものが見られる（いずれも墨印）。

- ① 「雲州／母里／山本屋」、円形、径三・〇糎
- ② 「雲州／母里／山本」、円形、径二・九糎
- ③ 「山本屋」、長方形、二・一×一・〇糎

④「山本屋」、長方形、三・三×一・五糎

①



③



②



④



目録

〈凡例〉

順に、刊写の別／巻冊／寸法(縦×横)／外題、内題(適宜目録題、序題等をも掲げる)／各冊丁数／刊記・奥書等／蔵書印・所蔵を示す書き入れの各項目について掲げる。なお該当のない項目は適宜省略する。また付記すべき事項は、備考(※印)として掲げる。

外題・内題等の割書は「」で括って示した。(例)「新刻／校正」各見出しの書名は内題に拠ることを原則としたが、作品の認定などの便を考え外題等をあえて採用した場合もある。

今号では、(一) 実録について掲げる。

(一) 実録

一、太閤真蹟記 全十二編一二〇冊

太閤真蹟記初篇

写本、三十卷十冊 二五・三×一七・四糎

(外) 太閤真蹟記初篇(内) 太閤真蹟記初篇

丁数(一) 五一(二) 五四(三) 四九(四) 五四(五) 四七(六)

五三(七) 五五(八) 五四(九) 五四(一〇) 五四

蔵書印①(「雲州／母里／山本屋」径三・〇糎)、各冊首、末

墨書き「中町／山本屋」、各冊末

太閤真蹟記二編

写本、三十卷十冊 二五・一×一七・三糎

(外) 太閤真蹟記式編(内) 太閤真蹟記二編

丁数(一) 五七(二) 五二(三) 四八(四) 五〇(五) 五一(六)

五三(七) 五二(八) 五七(九) 五三(一〇) 五三

蔵書印①(「雲州／母里／山本屋」径三・〇糎)、各冊末

太閤真蹟記三篇

写本、三十卷十冊 二五・四×一七・四糎

(外) 太閤真蹟記三篇(内) 太閤真蹟記三篇

丁数(一) 六〇(二) 五八(三) 五九(四) 五四(五) 五四(六)

五三(七) 五一(八) 五二(九) 五二(一〇) 五三

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎、各冊首、末

太閤真蹟記四篇

写本、三十卷十冊 二五・三×一七・四糎

(外) 太閤真蹟記四編(内) 太閤真蹟記四篇

丁数(一) 五四(二) 五三(三) 五五(四) 五四(五) 五三(六)

五四(七) 五四(八) 四九(九) 五二(一〇) 五五

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎、各冊末

太閤真蹟記五篇

写本、三十卷十冊 二五・三×一七・四糎

(外) 太閤真蹟記五編(内) 太閤真蹟記五篇

丁数(一) 五四(二) 五三(三) 五三(四) 四八(五) 四九(六)

四七(七) 四四(八) 五一(九) 五〇(一〇) 五三

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎、各冊末

太閤真蹟記六篇

写本、三十卷十冊 二五・四×一七・三糎

(外) 太閤真蹟記六編(内) 太閤真蹟記六篇

丁数(一) 六〇(二) 六四(三) 五六(四) 五七(五) 五九(六)

五六(七) 五四(八) 五四(九) 五一(一〇) 五六

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎、各冊末

太閤真蹟記七篇

写本、三十卷十冊 二五・二×一七・四糎

(外) 太閤真蹟記七編(内) 太閤真蹟記七篇

丁数(一) 五五(二) 四六(三) 五〇(四) 五二(五) 四八(六)

五〇(七) 四七(八) 四八(九) 四八(一〇) 四七

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎、各冊末

太閤真蹟記八篇

写本、三十卷十冊 二五・三×一七・四糎

(外) 太閤真蹟記八篇(内) 太閤真蹟記八篇

丁数(一) 四二(二) 五四(三) 五三(四) 五四(五) 五五(六)

四六(七) 四七(八) 四九(九) 四六(一〇) 四五

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎、各冊末

太閤真蹟記九篇

写本、三十卷十冊 二五・五×一七・五糎

(外) 太閤真蹟記九篇(内) 太閤真蹟記九篇

丁数(一) 四四(二) 四七(三) 四七(四) 四四(五) 四四(六)

四四(七) 四二(八) 四一(九) 四二(一〇) 三九

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎、第四、一〇冊の各冊末

太閤真蹟記十篇

写本、三十卷十冊 二五・四×一七・六糎

(外) 太閤真蹟記十編(内) 太閤真蹟記十篇

丁数(一) 四三(二) 四九(三) 四九(四) 五三(五) 五四(六)

五六(七) 五六(八) 五二(九) 三七(一〇) 三三

蔵書印①(「雲州/母里/山本屋」径三・〇糎)、第二、一〇冊の各冊末

太閤真蹟記十一篇

写本、三十四卷十冊 二五・三×一七・六糎

(外) 太閤真蹟記十一篇(内) 太閤真蹟記十一篇

丁数(一) 四七(二) 五三(三) 五七(四) 五三(五) 六七(六)

四九(七) 五一(八) 四九(九) 六一(一〇) 四七

蔵書印なし。

太閤真蹟記十二篇

写本、三十卷十冊 二五・四×一七・五糎

(外) 太閤真蹟記十二篇(内) 太閤真蹟記十二篇

丁数(一) 四七(二) 四四(三) 四九(四) 四六(五) 四八(六)

四五(七) 四三(八) 四六(九) 五三(一〇) 四六

蔵書印なし。

二、太閤真蹟記 全十二編一四冊

※九篇、全十冊のうち六冊欠。いずれも蔵書印なし。

太閤真蹟記初篇

写本、三十卷十冊 二五・五×一七・九糎

(外) 太閤真蹟記初篇(内) 太閤真蹟記初篇

丁数(一) 四〇(二) 四二(三) 四三(四) 四一(五) 三九(六)

四一(七) 四〇(八) 四二(九) 四〇(一〇) 四一

太閤真蹟記二篇

写本、三十卷十冊 二五・五×一八・〇糎

(外) 太閤真蹟記二篇(内) 太閤真蹟記二篇

丁数(一) 四六(二) 四二(三) 四〇(四) 四二(五) 四三(六)

五一(七) 四八(八) 五〇(九) 四九(一〇) 四六

太閤真蹟記三篇

写本、三十卷十冊 二五・五×一八・〇糎

(外) 太閤真蹟記三篇(内) 太閤真蹟記三篇

丁数(一) 四〇(二) 三九(三) 四一(四) 四〇(五) 四〇(六)

四〇(七) 四一(八) 四五(九) 四二(一〇) 四四

太閤真蹟記四篇

写本、三十卷十冊 二五・六×一八・〇糎

(外) 太閤真蹟記四篇(内) 太閤真蹟記四篇

丁数(一) 四六(二) 四六(三) 四五(四) 四四(五) 四六(六)

四六(七) 四五(八) 四五(九) 四四(一〇) 四六

太閤真蹟記五篇

写本、三十卷十冊 二五・五×一八・〇糎

(外) 太閤真蹟記五篇(内) 太閤真蹟記五篇

丁数(一) 四五(二) 四八(三) 四七(四) 四八(五) 四七(六)

四八(七) 四九(八) 五〇(九) 四九(一〇) 五〇

太閤真蹟記六篇

写本、三十卷十冊 二五・五×一七・九糎

(外) 太閤真蹟記六篇(内) 太閤真蹟記六篇

丁数 (一) 五一 (二) 五四 (三) 四七 (四) 四九 (五) 四九 (六)
五二 (七) 五〇 (八) 五〇 (九) 四七 (一〇) 五三

太閤真蹟記七篇

写本、三十卷十冊 二六・〇×一八・一糎

(外) 太閤真蹟記七篇(内) 太閤真蹟記七篇

丁数 (一) 四八 (二) 四四 (三) 四七 (四) 四八 (五) 四三 (六)
四四 (七) 四二 (八) 四三 (九) 四三 (一〇) 四三

太閤真蹟記八篇

写本、三十卷十冊 二六・〇×一八・〇糎

(外) 太閤真蹟記八篇(内) 太閤真蹟記八篇

丁数 (一) 三七 (二) 四七 (三) 四九 (四) 四六 (五) 四三 (六)
四二 (七) 四三 (八) 四四 (九) 三九 (一〇) 四一

太閤真蹟記九篇

写本、三十卷のうち卷一、九、二十八、三十存、四冊

二五・四×一七・七糎

(外) 太閤真蹟記九篇(内) 太閤真蹟記九篇

丁数 (一) 四〇 (二) 四二 (三) 四六 (四) 四〇

太閤真蹟記十篇

写本、三十卷十冊 二五・一×一七・七糎

(外) 太閤真蹟記十篇(内) 太閤真蹟記十篇

丁数 (一) 四一 (二) 四三 (三) 四七 (四) 五〇 (五) 五一 (六)
五二 (七) 五一 (八) 五三 (九) 三三 (一〇) 二九

太閤真蹟記十一篇

写本、三十卷十冊 二五・四×一七・九糎

(外) 太閤真蹟記十一篇(内) 太閤真蹟記十一篇

丁数 (一) 二五 (二) 四九 (三) 五〇 (四) 四六 (五) 六二 (六)
四七 (七) 四七 (八) 四七 (九) 六一 (一〇) 四八

太閤真蹟記十二篇

写本、三十卷十冊 二五・五×一七・九糎

(外) 太閤真蹟記十二篇(内) 太閤真蹟記十二篇

丁数 (一) 四三 (二) 四六 (三) 五〇 (四) 四六 (五) 四六 (六)
四七 (七) 四六 (八) 四六 (九) 五七 (一〇) 四九

三、敵討名残広記

写本、全十五卷のうち卷四欠、十二冊 二五・四×一七・六糎

(外) 敵討名残広記(内) 敵討名残広記

丁数 (一) 一四 (二) 一四 (三) 一四 (四は欠) (五) 一五 (六) 一
五 (七) 一四・五 (八) 一四 (九) 一五 (一〇) 一四 (一一) 一五・
五 (一二) 一五・五 (一三) 一五・五

丁表ノドに丁付あり。

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎)、各冊首、第一冊は冊末にもあり。

四、覽仇討

写本、卷一、六存、三冊 一・二五・三×一七・四糎

(外) 覽仇討(内) 飯沼始末記

丁数(一)三三(二)三〇(三)三三

丁表ノドに丁付あり。

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎)、各冊末

五、飯沼始末録

写本、卷中存、一冊 二・二六・二×一八・七糎

(外) 飯沼始末録(内) 飯沼始末録

丁数 二九

※仮綴。

六、辻語月見夫婦

写本、四卷二冊 二・二五・四×一七・五糎

(外) 辻語月見夫婦(内) 辻語月見の夫婦

丁数(一)三〇(二)三〇(三)三四

丁表ノドに丁付あり。

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎)、各冊末

七、「加／州」仇討義心鑑

写本、三卷三冊 二・二五・四×一七・九糎

(外)「加／州」仇討義心鑑(内) 仇討義心之鑑

丁数(一)一九(二)二〇(三)一五

蔵書印②〔雲州／母里／山本〕径二・九糎)

蔵書印③〔山本屋〕二・一×一・〇糎)

蔵書印④〔山本屋〕三・三×一・五糎)、いずれも各冊首

八、宇都宮金清水

写本、五卷五冊 二・二五・六×一七・八糎

(外)「野／州」宇都宮金清水(内) 宇都宮金清水

丁数(一)三四(二)三三(三)三七(四)三一(五)二五

丁表ノドに丁付あり。

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎)、各冊首

墨書き「中町／山本屋」、各冊首

九、「伊／賀」上野敵討実録

写本、六卷三冊 二・二五・〇×一七・八糎

(外)「伊／賀」上野敵討実録(内) 上野敵討実録

丁数(一)四三(二)四二(三)四五

丁表ノドに丁付あり。

蔵書印①〔雲州／母里／山本屋〕径三・〇糎)、各冊首

墨書き「中町／山本屋」、各冊首

※第三冊見返しに貼られた紙は「太閤真蹟記三篇第二十五卷」巻首の反古。

一〇、金毘羅御加護

写本、十卷五冊 二四・七×一七・〇糎

(外) 金毘羅御加護(内)「金毘羅／御加護」鶴子談

丁数 (一) 三七 (二) 二五 (三) 二八 (四) 二四 (五) 二三

蔵書印① (「雲州／母里／山本屋」径三・〇糎)、各冊首

墨書き「山本藤九良」、各冊首。

一一、石井明道士

写本、十六卷四冊 二六・五×一八・七糎

(外) 石井明道士(内) 石井明道士

丁数 (一) 六九 (二) 五七 (三) 六二・五 (四) 五一

蔵書印② (「雲州／母里／山本」径二・九糎)、各冊首

※長方形の墨印を抹消した跡あり(他から山本家へ入ったものか)。

※序に、「石井明道士序／撰者丹州亀山の隠士望月志隨軒高信借筆武

江浅草の隠士尼子一風子謹筆」。

一二、芸州婦敵討

写本、一冊 二五・三×一八・四糎

(外) 芸州婦敵討(目録) 芸州家中女敵討

外題下には「上下式卷合冊」、目録には「上下」と記すが、本文では

巻を分けていない。

丁数 四三

蔵書印① (「雲州／母里／山本屋」径三・〇糎)、冊首

墨書き「中町／山本屋」、冊首

※毛谷村六助の話。

一三、天草軍記

写本、二十六卷九冊 二四・八×一七・四糎

(外) 天草軍記(目録) 天草軍記

丁数 (一) 五四 (二) 四七 (三) 四九 (四) 四八 (五) 四四 (六)

五〇 (七) 五二 (八) 四九 (九) 三二

丁表ノドに丁付あり。

蔵書印② (「雲州／母里／山本」径二・九糎)、各冊首

※振り仮名あり(最初の方の巻に多く施す)。

※序に、「天草軍記序／田丸／源興方述作之」。

一四、日光郡鄆枕

写本、全五巻のうち巻三欠、四冊 一三・七×一七・〇糎

(外)「増／補」日光郡鄆枕(目録) 日光郡鄆枕

丁数 (一) 一五・五 (二) 一八・五 (三) 三は欠 (四) 二〇・五 (五)

四三・五

墨書き「原捨松」「野外邑／原捨松」、各冊末。「原新七(花押)」、巻

四の冊末。

※序に、「序／時維寛延三庚午春三月／浪華陰士 於可茂登」。

一五、双島志俗豪傑

写本、八卷八冊 二五・三×一七・五糎

(外) 双嶋志俗豪傑(内) 双島志俗豪傑

丁数 (一) 一二 (二) 一一 (三) 一四 (四) 一三 (五) 一二 (六)

一二 (七) 一四 (八) 一六

丁表ノドに丁付あり。

蔵書印①(「雲州/母里/山本屋」径三・〇糎)、各冊末

一六、賊禁秘談

写本、卷三〜七存、二冊 二五・〇×一七・五糎

(外) 賊禁秘談(内) 賊禁秘談

丁数(一)三五(二)四八

蔵書印①(「雲州/母里/山本屋」径三・〇糎)、各冊首

墨書き「中町/山本屋」、各冊首

一七、悪狐三国伝

写本、十五卷五冊 二五・四×一七・五糎

(外) 悪狐三国伝(内) 悪狐三国伝

丁数(一)三五(二)三一(三)三二(四)三五(五)二九

丁表ノドに丁付あり。

蔵書印①(「雲州/母里/山本屋」径三・〇糎)、各冊末

一八、厭蝕太平楽記

写本、卷七〜九存、一冊 二五・八×一八・六糎

(外) 厭蝕太平楽記(内) 厭蝕太平楽記

丁数 四一

※仮綴。

一九、三河後風土記抜書

写本、二十二冊 二四・〇×一八・七糎

(外) 三河後風土記抜書(内) ナシ

丁数(一)一四(二)二〇(三)二二(四)一九(五)一九(六)

一六(七)一八(八)二二(九)一〇(一〇)一三(一一)一六(一

二)一六(二三)一三(二四)一四(二五)八(二六)一六(二七)

一七(二八)一四(二九)一七(三〇)一九(三一)一九(三二)

一四

朱の書入あり。

二〇、関原御一戦覚

写本、五卷附録三冊 二四・二×一八・六糎

(外) 関原御一戦覚(内) 関原御一戦覚

丁数(一)二七(二)三六(三)四六

奥書「寛文十一辛亥四月/大関左助定祐」、奥書「寛政五癸巳九月晦日再写之/山田貫之永旧」。

二一、豊臣鎮西軍記前篇

写本、前篇卷一〜九存、三冊 二七・〇×一八・三糎

(外) なし(表紙欠)(内) 豊臣鎮西軍記前篇

丁数(一)四四(二)四二(三)四一

※表紙を欠く。

二二、菅家実録

写本、十五卷五冊 二五・〇×一六・九糎

(外) 菅家実録(内) 菅原一代記

丁数(一)八九(二)七三(三)九五(四)一一二(五)八四

丁表ノドに丁付あり。

蔵書印①（「雲州／母里／山本屋」径三・〇糎）、第一冊は冊首、第二～五冊は冊末。

※三、四、六、一三、一五、一七／七、八、九、二三／一九、二〇は、それぞれ同一の筆跡と認められる。

【付記】貴重な資料を寄贈下さり、多くの御高配を賜った山本登朗先生に深謝申し上げます。

本稿は、山陰研究センター基盤形成事業（二〇一一年度）の成果の一部である。

The List of Yamamoto-bunko owned by San-in Reserch Center(1)

TANAKA Norio

(Shimane University, Faculty of Law and Literature)

[Abstract]

Yamamoto-bunko owned by San-in Reserch Center is a collection of classical books inherited by the House of Yamamoto, in Mori, Yasugi City, Shimane Prefecture. It includes the novels written in the Edo period (especially *jitsuroku*), the books of Chinese poetry, and those of *haikai* produced in the Mori district.

Keywords : *jitsuroku*, a historical novel, novels in Edo period